



天田いづみ  
リベラル市民21

### ◎天田いづみ議員

現在、介護保険事業計画第7期の策定が進められており、その計画案にも、在宅医療連携拠点の設置が位置づけられているが、今後の在宅医療と介護の支援体制をどのように整えていくのか。

また、他市では、本庁に求められた相談について、ワンストップサービスでしっかりと受け止めていける体制づくりを進めているところもあるが、本市では、館・幸町地区の高齢者あんしん相談センターの相談機能の強化をはじめ、市内5か所の高齢者あんしん相談センターの連絡調整、さらにその統括をする基幹型の地域包括支援センターの設置について、どのように考えているのか聞く。

### ◎健康福祉部長

市では、現在、審議を進めている高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画において、在宅療養に係るサービスの拡充、在宅医療と介護の連携の取り組みを一層強化していきたいと考えている。また、地域の介護事業

### 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。12月定例会では、12名の議員がさまざまな質問をしました。

## 高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画（平成30～32年度）について

所が、より身近で利用しやすいような在宅医療連携の支援体制の整備をめざしていきたい。

さらに、基幹型や機能強化型のセンター及びセンター機能を担う組織の役割には、自治体ごとにもその業務内容が異なることから、本市の課題などを勘案しながら、複合的な機能強化を図ることが重要と考えている。

いづれにしても、高齢者あんしん相談センターが地域の中核機能としての役割を担えるよう、センター機能の強化を位置づけるとともに、強化のあり方を含め議論を重ねていく。



高齢者あんしん相談センター  
(館・幸町)

### その他の質問項目

- 地域福祉計画について
- 子どもたちへの支援について



今村 弘志  
公明党

### ◎今村弘志議員

祖父母手帳とは、親世代と祖父母世代のギャップを解消するために、さいたま市が「笑顔をつなぐ孫育て」と題して作成した手帳である。調べてみると、孫育てのメリットから祖父母と親の上手なつき合い方、子育ての昔と今を比べるなど、興味深い内容で、祖母から、昔の子育て論を押しつけられて困惑したことなど、今まで祖父母と親の間に生じていたもやもやした事柄がアンケートから吸い上げられ、解決への糸口が示されている。

さいたま市の祖父母手帳は、子育て世代だけではなく、祖父母世代にも育児にかかわってもらい、地域における子育ての担い手として活躍していただくことを期待し作成されている。子育て支援に力を入れている志木市として、この取り組みを参考に、我が家の、そして地域の孫育てを応援する祖父母手帳を作成していただきたいと思うが、所見を尋ねる。

日々変化をしております、さらに、核家族化が進んでいるため、子育て世代と祖父母世代との間には、育児に関する世代間の違いが生じていると認識している。

今後は、情報共有の視点から、授乳や離乳食、おむつのことなど、最近の育児事情をお知らせする祖父母を対象とした手づくりのリーフレットを作製し、新生児訪問や母子保健推進員による家庭訪問等の活動の際などに、ご希望の方に配付できるように調整を行い、家族だけではなく、地域としての孫育てを支援できるように取り組んでいく。

## 子育て施策について

### その他の質問項目

- 教育施策について
- 福祉施策について
- 安全・安心対策について





吉川 義郎  
公明党

## 青少年を犯罪から守るために

### ◎吉川義郎議員

SNSの利用がきっかけで犯罪被害に遭った件数は過去最多を更新している。インターネットや携帯などのSNS利用に対して具体的対策を検討しているのか聞く。

また、SNSは、若者を簡単に危険な道へ引きずり込んでしまい、そこから引き返せない依存症の状態に陥る。このように、依存症になりやすい環境の中、子どもたちを守るための対策について聞く。ほかにも、薬物・アルコール・ギャンブルなどの依存症になる若い世代が増えてきている。本市において、どのような認識でいるのか、対策を検討しているのか聞く。

### ◎教育政策部長

インターネット等の利用によるトラブルは、どの子どもにも起こり得ることであると強く認識しており、学校教育及び家庭教育の支援を進める必要があると考えている。そこで、今後、市民や関係団体の皆様からのご意見を踏まえ、学校、家庭、地域、行政が連携した家庭教育の支援に取り

り組んでいく。

また、近年、子どもについても、新たにインターネット等を利用した交流やゲームなどの依存症に陥るケースが増えてきている。今後、不登校等の相談及びカウンセリングについて、家庭、学校及び教育サポートセンター、医療機関との連携をさらに強化し子どもの出すサインを見逃すことのないよう努めていく。また、専門的な医療機関の情報提供を行うとともに、インターネット等に関する相談窓口についても充実を図ることにより、子どもたちが元気に健やかに成長できるように環境づくりに努めていく。



スマートフォンなどで多くの人に利用されているSNS

### その他の質問項目

#### ●教育環境の改善について

#### ●高齢者支援について

#### ●災害対策について



多田 光宏  
NHKから国民を守る党

## 児童・生徒の髪色に対する指導について

### ◎多田光宏議員

生まれつき髪の色が茶色であるにもかかわらず、校則を理由に黒く染めるよう教諭らに強要されて不登校になったとして、大阪府立高校3年の女子生徒が府に対して慰謝料など損害賠償を求める訴訟を起こしていたことが10月末ごろ報道された。このような指導をしている学校が存在しているということに驚き、本市の学校ではどのような指導を行っているのか心配になった。

一部の学校では入学時に生徒側に地毛証明書という書類の提出をさせているそうであるが、本市においては、地毛証明書のようなものの提出を要求しているかについて、伺う。

また、本市において、生まれつき黒髪ではない生徒に対して黒に染めるような指導をしているかどうかについて、伺う。

### ◎教育長職務代理人

髪の色に関する指導について、中学校の校則では、中学生にふさわしい頭髪にすることとあり、髪の色を故意に変えることは認めていない。また、

小学校では頭髪等に関する規則を特に定めていないが、中学校に準じている。

地毛証明書の提出を求めている小・中学校はないが、生まれつき黒髪ではない児童・生徒については、保護者と連絡を取り合いながら、教職員間で共通理解を図って対応しており、強制的に黒く染めさせるような指導は行っていない。

今後も児童・生徒の人權に配慮し、引き続き学校と家庭が連携を図りながら対応できるように指導していく。



### その他の質問項目

#### ●期日前投票について

#### ●セクシャルマイノリティの市民に対する行政について



池ノ内秀夫  
しきの会

平成29年10月23日早朝の台風21号に対するメール発信と防災しきの放送について

#### ●池ノ内秀夫議員

避難準備と高齢者などへの避難準備、開始に対し、どういう訳で避難するのか、その理由・説明をひとこと付け加えるべきであったと思うが、なぜか聞く。この点について、宗岡地区では多くの方々から不満の声を耳にした。市民にわかっていただくための放送、内容に心掛けていただきたい。

高齢者、障がい者や幼児を連れて、大雨・強風の中、避難場所まで行くことは、体力的・身体的に厳しいものがある。現実的に、市は対応をどう考えているか。

避難場所へ行くにも、道路冠水など危険を伴うため、垂直避難という自宅2階部分への避難も有効かと思うが、どうか聞く。

#### ●総務部長

柳瀬川の堤防を越水するおそれがあったため、さらに、新河岸川の水位が上昇したため、宗岡地区全域に情報を発信した。情報の伝達内容が、市民の方の的確に伝わらず、その原因を検証したところ、入力に文字数制限があ



大雨で増水した新河岸川  
(写真は、平成28年8月の台風9号の時に撮影したもの)

り、避難対象区域と避難場所のみの情報発信となったことが判明した。このため、システム不備を早速改善した。今後は、市民にわかりやすい内容を心掛け、情報に配慮していく。

避難場所への移動は、危険を及ぼす恐れがあり、自宅の2階以上、近隣建物の高層階へ垂直避難をするよう、地域防災計画にも明記しており、今後、要配慮者に対する、より適切な支援体制の構築を図っていく。

#### ●高浦康彦議員



高浦 康彦  
日本共産党

水害対策について

一級河川での土手の天端と橋にかかるとの道路との落差の問題について、全国に危険箇所が多くあることが指摘され、その一例として羽根倉橋西交差点付近の落差がテレビで放映された。その後の検討状況について聞く。

水害の避難場所について、志木市地域防災計画には、比較的小規模な被害また、大規模な被害が生じると予想される場合の避難所について、詳細には記載されていない。いろいろな規模の被害に対して、改めて避難所の見直しをする必要があるのではないか。

昨年、今年と、幸町・福住地区の一部で浸水被害が発生した。住民に聞いたところ、排水ますがゴミで詰まるため支障を来したとのことであった。この幸町・福住地区の水害対策について聞く。

#### ●都市整備部長

羽根倉橋西交差点付近の荒川堤防について、荒川上流河川事務所に確認したところ、局所的に堤防が低く越水のおそれがある間の橋梁部周辺対策について、関係者と協議中で着工時期も未

定とのことである。市としては、早期に工事に着手するよう要望している。

水害対策については、今年度より道路排水施設の改修を積極的に進めている。当該地でも、集水ますの増設やふたの交換により道路冠水の軽減を図るため、本議会に道路排水施設の改修費用として補正予算をお願いしている。

#### ●総務部長

国のガイドラインでは、水害の危険性のある地域では、川沿いに避難所を設けないことを基本としており、本市でも、市が管理する施設以外の場所を避難所として、志木市地域防災計画に指定している。今後も、関係機関との調整を積極的に進めていく。

#### その他の質問項目

- 生活困窮者への滞納処分について
- 介護施設労働者の賃金について
- 臨時職員・臨時教員の時給改善について
- 高齢者に対する入浴施設の補助制度について
- 行き止まり「私道」の舗装の補助制度について
- 路上喫煙の禁止について



水谷 利美  
日本共産党

●水谷利美議員

子ども医療費の市税の完納要件の撤廃について、少しでも内容が改善してほしいという思いで、これまで質問してきた。

県内でこの制度があるのは本市以外では和光市と川口市、松伏町と聞いており、和光市と川口市は、この制度をつくってからすぐに多くの市民の皆さんから批判の声が出て、大幅に改善をした。完納要件の条例はそのままにして、児童手当が支給されている世帯については全て対象とするという制度の大幅な改善をしている。

この問題について、ぜひ志木市としても検討してほしいということで、質問する。子どもの貧困問題というのが本当に今年度も大きく報道されて、大きな社会問題となっている。それぞれの立場で、子どもたちの救済の制度として、子育ての支援策の大きな柱として、中身を少し改善していくということの検討をしてほしいと思うが、聞く。

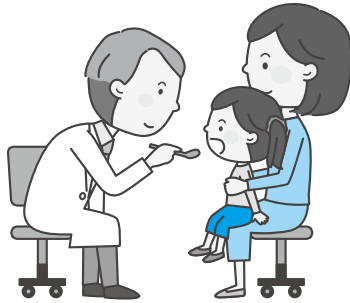
◎市長

これまでも分割納付による資格の

子ども医療費について

付与など、さまざまな見直しを図ってきたところである。

さらに、来年度からは、高校生の入院費を無償化するよう、制度の拡大を図ることとしているが、本事業については、市が独自で行う子育て支援策であり、市民の皆様からの貴重な税金を財源としていることから、引き続き、負担と給付の公平性を基本と捉えていく中で、現時点においては、市税等の完納要件の撤廃や、所得額に応じた資格の付与については考えていない。

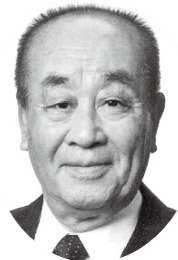


その他の質問項目

●介護保険制度について

●国民健康保険の広域化について

●一般国道254号バイパス問題について



鈴木 潔  
しきの会

●鈴木潔議員

新河岸川にかかる富士下橋下流右岸の伐採されたアジサイの植栽と、富士下橋下流右岸、管理用道路堤内の、新たなアジサイの植栽について聞く。

3年前ぐらいに、堤防の草刈りの際に、植えたばかりのアジサイが、草刈りと一緒に刈り取られてしまったところに、新しいアジサイを植えていただけないか。

また、富士下橋下流管理用道路堤内の照明灯の側にも、新たにアジサイを植栽していただき、管理用道路をアジサイロードとして、より一層の志木市の自然環境資源として、自慢できる場所としたいと思うが、どうか。

◎都市整備部長

アジサイについては、平成24年度末に、本市で植栽したもので、平成26年9月に、朝霞県土整備事務所が発注した、堤防の草刈り業務委託の際に、誤って一部を伐採してしまったものである。その後、代替の植栽が行われたが、河川管理上好ましくないとのことから、堤内地側へ植栽をしたとのこと

アジサイの植栽について

である。現在では、順調に成長し、きれいな花を咲かせているが、河川側のアジサイは、伐採された部分にあきが見られるため、補植について、河川管理者と協議したところ、堤防の保護を優先すべきとの立場から、了解はいただけない状況である。市としては、了承いただけるよう、再度協議していく。

なお、照明灯付近への植栽については、朝霞県土整備事務所では、堤内地側であり、植栽は可能とのことであるので、今後、アジサイの植栽を進めていきたいと考えている。



多くの市民の目を楽しませるアジサイ

その他の質問項目

●私道について

●建築基準法第42条第2項道路について

●督促状の誤送付について



河野 芳徳  
しきの会

◎河野芳徳議員

今後、自治体として非常に財政が厳しくなっていく中、1円でも税を徴収していくことは必要不可欠だと思う。そこで、新たな収納チャンネルとして、モバイルレジを提案する。請求書に印刷されたバーコードを携帯電話で読み取り、ネットバンキングを利用して支払いができるサービスで、自宅で簡単に支払うことができる。近年、多くの自治体で導入されており、本市においても、ぜひモバイルレジを導入していただければと思っている。

また、口座振替が手数料としては一番安価であると思うが、口座振替をどのように推進しているのか、伺う。

さらには、直近の市税の収納率については、現在、どのような推移か。収納率の向上に向けてどのような努力をしてきたのか、伺う。

◎総務部長

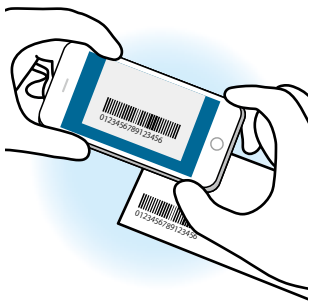
平成28年度決算における本市の市税収納率は、現年分、滞納繰越分、合計95.86パーセントである。納税相談、生活改善型納税相談の実施、預貯金な

市税の収納について

どの債権に対する差し押さえなどの滞納処分のほか、高額滞納者宅の捜索や職員みずから過払い金を発掘し、滞納している税額への充当を行うなどの対応を行うなど収納率の向上に努めている。

口座振替については、当初に発送する納税通知書と一緒に口座振替依頼書を同封しているほか、平成26年にはペイジー口座振替受付を開始している。

モバイルレジ収納については、既に導入している先進自治体の動向を調査、検証するとともに、現在の取り組みを強化し、納期限内納付の推進と収納率の向上に努めていきたい。



その他の質問項目

- 市民の健康政策について
- 子育て環境について



岡島 貴弘  
こころざしの会

◎岡島貴弘議員

東日本大震災から来年3月で7年となるが、風化が始まっている。3月11日午後2時46分に合わせて防災行政無線による東日本大震災追悼放送を流し、市内一斉の黙祷ができないか聞く。

また「災害の発生に備える」をテーマに各家庭で話をするよう、学校から課題などを出し、家庭ごとの取り組みを発表することによって、防災・減災・自助・共助の意識づけができないものか考えている。避難場所など、各家庭でそれぞれ取り組んでいることを子どもたちが家族と話して、それをまた学校に持ち帰って、その輪を広げていくような取り組みができないか聞く。

◎総務部長

防災行政無線による東日本大震災追悼放送については、近隣市では、東松島市と防災応援協定を締結している富士見市のみが実施している。一方、本市は、職員派遣を行った阪神・淡路大震災や支援助資を送った熊本地震においても追悼放送は実施していない状況であり、また、東北地方の自治体と防

東日本大震災の風化防止と防災・減災の意識付けについて

防災協定を締結している等の関係がないので追悼放送は予定していない。

◎教育長職務代理者

学校教育を通じた家庭への啓発は行っていないことから、防災について学校で聞いたことや学んだことを家庭でも積極的に話したり考えたりするよう、児童・生徒に働きかけていく。

東日本大震災を風化させないよう努めるとともに、学校、家庭、地域、行政が連携した防災・減災・自助・共助の意識を高められるよう、引き続き取り組んでいきたい。



その他の質問項目

- 民間施設設置のAED（自動体外式除細動器）の活用について
- 市民力を活かした新たな賑わい創出について



安藤 圭介  
しきの会

◎安藤圭介議員

本市は、ベッドタウンでもあり、共働きの方々が多く住んでいる。就労中に我が子が風邪を引いたなどのことがあると、迎えに行かなければならず、職場に居づらい、仕事に復帰できないなど聞いている。そこで、病児保育事業を本市でもできないものか尋ねる。

総務厚生常任委員会で視察に行った、福岡県春日市では、小児科医院や総合病院が主体で病児保育を行っている。市内の病院や小児科医院に声をかけ、交渉するだけでもできないか。

また、保育ステーション内の一時保育の利用状況を聞く。バスによる送迎という点から、感染症が複数園に広がるといった心配がないのか、保育ステーションにおける感染症予防対策について伺う。

◎健康福祉部長

病児保育については、スペースの確保など大きな課題があるため、現在、市内の認可保育園においては実施されていない。このため、緊急サポートセンター埼玉との委託契約による病児の

保育環境について

一時預かりのほか、市内の民間保育園のうち1園で病後児保育事業を行っている。しかし、病児・病後児保育の必要性は十分認識しているので、保育事業者にも働きかけを行っていききたい。

また、保育ステーション内の一時保育は、定期利用者10人、そのほか利用登録者10人程度が登録されている。

感染症予防対策は、アルコール消毒の徹底など、感染症予防マニュアルに沿った対応を行っており、今後も、事業者に対して働きかけを行っていく。



福岡県春日市の病児保育のパンフレットなど

その他の質問項目

- 教育環境について
- 市歌の周知徹底について
- 市民が日常的に親しみ楽しめるスポーツの環境作りについて



小山 幹雄  
しきの会

◎小山幹雄議員

柏町1丁目に点滅式の信号機があるが、先般、市役所から、その信号機を取り外すという電話があった。せっかく設置したのに、なぜ取り外すのか。危険な場所のため、最初、普通の信号機をつけられないかということをお願いしたが、待機場がなく、信号機と信号機の間距離がないということ

で、普通の信号機が設置できない。そのかわり、点滅式の信号機が設置できるということ、設置された。警察から撤去の通知があったということなので、警察がどういう考えをしているのかわからないが、市としてどう考えているのか聞く。

◎都市整備部長

朝霞警察署では、1灯点滅式信号機設置後も出会い頭の事故が多数発生していることから、効果が低いと判断しているとのことである。

また、警察庁からの通達において、効果の低い場所に設置されている1灯点滅式信号機については、一時停止の交通規制など代替可能な場合は信号機

交通安全について

の撤去を検討するものとする」とされており、埼玉県警では、今後県内の1灯点滅式の信号機については、効果を検証し、順次撤去する方針とのことであり、当該交差点の信号機を撤去し、一時停止規制にするとのことである。

市としては、信号機を撤去したことにより今よりも交通事故が増加するおそれもあることから、朝霞警察署に対し信号機の存続を要望するとともに、仮に撤去の方針が示された場合には、その代替策についてより効果のあるものを設置するよう強く働きかけていく。



点滅式信号機が設置されている交差点(柏町1丁目)

その他の質問項目

- 防災について